

『消費者教育』執筆要領 (2015.9 改定)

1. 原稿は原則として、パソコン・ワープロにて執筆する。
2. 用紙サイズは、A4サイズとする。
3. 文字数および余白については、40字×38行、天地余白を約30mmとして印字する。
4. 原稿の体裁については、以下の通りとする。
 - 1) 1枚目には、表題（英文表題併記）、著者名（ローマ字併記、連名の場合は全員名を記す）、所属（英文所属併記）。
 - 2) 2枚目には、無記名、表題（英文表題併記）、英文抄録（和訳併記）、キーワード（英文キーワード併記）。
 - 3) 3枚目以降を、本文とする。
5. 原稿枚数は、図表を含み、刷り上がり10頁以内とする。
6. 英文要旨は120語以内とする。なお和訳を付すこと。
7. キーワードは5語以内とする。（日本語及びそれに対応する英語）
8. 原稿及び関係の深い論文(投稿規程3項)は、3部提出する。
9. 投稿論文の表題は、独立の完結した論文としてふさわしいタイトルにし、通し番号等を付した形式は認めない。
10. 本文中の見出しは以下のようにする。

大見出し 1. 2. 3.

中見出し (1) (2) (3)

小見出し 1) 2) 3)
11. 引用文献は、本文の該当箇所に、(著者名〔姓のみ、連名の場合2名まではそのまま記載し、3名以上の場合筆頭著者名等とする〕西暦発行年、引用頁)、または、本文中に著者名がある場合は、その著者名に続けて(西暦発行年、引用頁)と記し、本文の最後に「引用文献」を一括して記載する。引用頁は省略される場合もある。

文末の「引用文献」は、著書の場合は著者名(西暦発行年)、タイトル、出版社名の順、雑誌の場合は著者名(西暦発行年)、掲載雑誌名、巻号、掲載頁の順とし、著者のアルファベット順に並べる。

 - 1) 本文中の引用例
例：…に言及した研究は、西村(2014)、東(2013)があげられる。
…については「…」(松葉口・天野 2012, 10)との指摘があるが、水谷(2011, 11)は…
 - 2) 文末の引用文献例
西村隆男(1999), 日本の消費者教育—その生成と発展, 有斐閣
鈴木真由子・大本久美子(2012), 中学校における消費者教育の現状—家庭科及び社会科教員への質問紙調査をもとに, 消費者教育, 第32冊, 1~10